



改訂教科書紹介 Part.1 ビジネス基礎 新訂版

名古屋市立西陵高等学校教諭 三輪 俊輔

ビジネス基礎は、原則履修科目ということもあり、商業科目を学ぶほとんどの生徒が履修していることと思います。しかし、同じようにほとんどの生徒が学んでいる簿記や情報処理に比べると、ビジネス基礎には特有の教え方の難しさがあるように感じます。簿記や情報処理は、生徒の成長度合いがよく見えるのに対して、ビジネス基礎は、生徒がどれだけ理解しているのかわかりにくい。テストでもビジネス基礎は、「前の日に暗記すれば大丈夫でしょ」なんて言われてしまうこともあり…。なんとなくやるせない気持ちになるのは私だけでしょうか（もちろん、私の指導力の問題も否めませんが）。

しかし、あらためて考えてみると、ビジネス基礎には、社会に出るうえで知っておいてほしい内容が、ぎっしりと詰まっているのではないのでしょうか。現在の社会の状況、経済の基本、さまざまなビジネスの業種とその中身、代金決済の方法、ビジネス計算、情報の集め方や扱い方、そしてビジネスマナーなども。書店では、どの内容も「大人の学びなおし」という雰囲気です。棚に並んでいます。本当は、ビジネス基礎はそれだけ重要な科目だということですよ。

そんなビジネス基礎ですが、先生方のご努力でさまざまに工夫を凝らした授業が展開されていることかと思えます。そして、その傍らには、教科書も置いていただき、活用していただけるとありがたいと思います。この度の新訂版の教科書では、次のような点を工夫して編修しました。

①事例・コラム・+ Study をアップデートしました。
ビジネス基礎を教えるうえで、理論的なことばかりでは、生徒にも伝わりにくいと思います。生徒は、わかりやすい事例を求めているはずで、できるだ

け最新、かつ高校生世代にとって身近と思われる事例やコラムと、それに対応した+ Study の設問を準備しました。とくに、+ Study は、思考・判断・表現の観点の評価する際にも使っていただけることを目指しています。

②事例に関するインタビュー動画や説明の動画を充実させました。学校現場でも ICT 機器の普及によって、動画の視聴など、より簡単に行える環境が整ってきたことと思います。教科書紙面の二次コードから、動画にアクセスすることができます。視覚や聴覚に訴える動画は、生徒の記憶にも残ることでしょう。

③1章2節4項「持続可能な社会とビジネス」の内容を再編しました。これまでも現代の社会状況における重要なトピックを取り上げてきましたが、さらに「AI」や「カーボンニュートラル」、「食品ロス」といった内容を盛り込みました。社会で活躍する生徒に知っておいてほしい話題を、授業内でも取り上げていただければと思います。

④3章8節に「飲食サービス業・娯楽業・宿泊業」の内容を新設しました。これらの業種について学んでおくことで、今課程から導入された科目「観光ビジネス」の内容にリンクさせることができます。これからの日本が目指す「観光立国」のあり方を教えるためにも、ぜひとも触れていただきたい内容です。

「ビジネス基礎っておもしろい」。そう思ってくれる生徒が増えるとうれしいですね。全国各地でがんばっている先生方、これからもみんなでいっしょにがんばっていきましょう。科目「ビジネス基礎」の益々の発展を祈念しております。